

令和6年度学校安全指導者養成研修 実施要項

1 目的

各地域・学校において児童生徒等の安全の確保が図られるよう、学校安全における三領域（生活安全・交通安全・災害安全）に関し、必要な知識等の習得を図る。さらに、各地域における研修講師等として、1) 学校安全に関する諸課題の改善に専門的知見を活用し、組織的な取組を推進する力、2) 学校、当該地域において教職員の専門性向上を推進する力を発揮し、指導・助言等を行うことのできる指導者の養成を図る。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 共催 文部科学省

4 期間 令和6年7月3日（水）～令和6年7月5日（金）

5 実施方法 Web 会議サービスを用いた同時双方向通信によるリアルタイム・オンライン研修（「Zoom ミーティング」（株）Zoom ビデオコミュニケーションズ）等を使用

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば本部

7 標準定員 150 名

8 参加者

(1) 参加資格

- ア 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者
- イ 幼稚園の園長及び副園長、並びに小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭等であって、学校や当該地域において本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者
- ウ 当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生のうち、教職経験のある者

※本研修は参加後の研修成果を各学校や当該地域で活用することを前提としている。推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

※「第5次男女共同参画基本計画」（令和2年12月25日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を25%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。

(2) 推薦人数

各都道府県教育委員会においては2名程度とする。各指定都市教育委員会、各中核市教育委員会、各都道府県知事部局、附属学校を置く各国公立大学、国立青少年教育振興機構等においては1名程度とする。なお、中核市を複数有する都道府県においては、各中核市からの推薦数を1名以内とした上で、上記基準を超過して推薦できるものとする。ただし、超過は各中核市から推薦があった人数分に限る。

(3) 推薦手続

推薦期限は、令和6年5月27日(月)とする。

推薦する機関においては、候補者を取りまとめて「研修システム」により推薦を行う。ただし、中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(4) 参加者の決定

推薦する機関からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。ただし、標準定員を超過する場合は、参加者数を調整することがある。そのため、「研修システム」により推薦を行う際に、候補者毎に推薦順位を入力すること。

9 研修内容

日程表は「別紙1」のとおりとする。

10 事前課題

(1) 研修成果活用計画書の作成

参加者及び所属長は事前に「研修成果活用計画書」を作成し、提出すること。なお、様式、提出方法等については、参加者決定時に別途連絡する。

(2) その他の事前課題

その他の事前課題がある場合は、参加者決定時に別途連絡する。

11 研修成果の活用

本研修は、参加者の研修成果を各学校や当該地域で活用することを前提としている。そのため、研修終了後、1年程度の期間を経た後に、研修成果の活用状況（研修企画、研修講師、他校訪問等）についてのアンケート調査を実施する。推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

12 その他

(1) 所定の課程を修了した参加者には、修了証書を授与する。参加者推薦の際に、必ず参加者の氏名を確認し、正確に記入すること。

(2) 本研修では、「Google Workspace」を利用する。利用に際し、Google アカウントや簡易マニュアルは当機構で作成し、参加者決定時に連絡する。

(3) 本研修では、Web 会議サービス「Zoom ミーティング」（(株)Zoom ビデオコミュニケーションズ）を用いて同時双方向通信を行う。参加に当たっては、当該ソフトウェアのインストールやインターネット通信環境の確保の他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Web カメラ等の必要機器を備えた端末を、1人1台準備すること。

(4) 「全国教員研修プラットフォーム(以下、「プラットフォーム」という)を利用している自治体からの参加者に関しては、プラットフォームへの本研修の修了状況の登録を当機構で行う。

登録に当たって、参加者のプラットフォームログイン ID が必要となるため、プラットフォームを利用している自治体は、推薦を行う際に研修システムより候補者毎にプラットフォームログイン ID を入力すること。

(5) 本研修の参加に際し、特別な配慮が必要な者（障害、持病等）を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

令和6年度 学校安全指導者養成研修 日程表

日程:令和6年7月3日(水)～7月5日(金)

※事前課題動画「学校安全の現状と課題」(20分)

8:45	9:00	9:30	10:45	10:55	12:10	13:15	14:30	14:45	16:00	16:35				
1 日目	受付	ガイダンス	第1講 学校安全の基礎		休憩	第2講 発達段階に応じた効果的な教育と組織活動①交通安全		休憩	第3講 発達段階に応じた効果的な教育と組織活動②生活安全		休憩	第4講 発達段階に応じた効果的な教育と組織活動③災害安全		リフレクション
			東京学芸大学 名誉教授 渡邊 正樹 学校安全に関する実態把握と 危機管理の基本			東北工業大学 総合教育センター 小川 和久 交通安全に関する知識や考え方			大阪教育大学 健康安全科学部門 藤田 大輔 生活安全に関する知識や考え方			慶應義塾大学 環境情報学部 大木 聖子 災害安全に関する知識や考え方		
8:45	9:00	9:30	12:15	13:15	14:30	14:45	16:00	16:35						
2 日目	受付	イントロダクション	第5講 学校事故事例報告(165分…休憩20分含む) ①不審者対応②救命処置③災害発生時の対応				休憩 (60分)	第6講 事故発生時の学校対応 ～学校事故対応に関する指針 をもとに～		休憩	第7講 学校安全のマネジメント		リフレクション	
			報告を聞くことで、教師の使命や責任を再確認する					大阪教育大学 健康安全科学部門 藤田 大輔 事故発生時の学校の対応の事例か ら、役割や具体的な実践を学ぶ			東京学芸大学 名誉教授 渡邊 正樹 安全教育を教育課程にどう位置付 け、推進していくかマネジメントのポイ ントを理解する			
			報告① (40分)	5分 休憩	報告② (30分)	5分 休憩		報告③ (30分)	10分 休憩		グループ協議 (45分)			
酒井 智恵	桐田 寿子	平塚真一郎												
8:45	9:00	9:30	10:45	11:00	12:15	13:15	16:10	16:30						
3 日目	受付	イントロダクション	第8講 地域の災害リスクを踏まえた危 機管理の在り方		休憩	第9講 危機管理体制の現状と課題		休憩 (60分)	第10講(演習80分×2/休憩15分含む) 学校安全の組織的な推進体制と研修成果の活用		実践に向けて			
			山形大学 客員研究員 村山 良之 ハザードマップの活用			(株)社会安全研究所 首藤 由紀 危機管理マニュアルの見直し			文部科学省 安全教育調査官 木下 史子 学校安全の組織的な推進体制と研修成果の活用					